



一人ひとりが認め合い、いきいきと輝くまちをめざして



男女共同参画社会の実現に向けて

男女が互いに人権を尊重しつつ、性別にかかわらず個性と能力を發揮できる社会の実現をめざす「男女共同参画基本法」の施行から20年が経ちました。その後も、働く場や政治分野における男女共同参画を進めるため、法律や制度が整備されてきています。

その一方で、私たちにはライフスタイル、家族構成、仕事と生活を取り巻く状況の変化への対応が求められています。全ての人が自分の意思で多様な生き方を選択でき、自分らしく生きる喜びを感じるような社会づくりを推進していく必要があります。

【写真】

- ①おごおりフォーラム
- ②出前講座(寸劇)(女性協議会)
- ③まわし読み新聞
- ④プレゼンテーション講座(CORAL)

問合せ先

秘書広報課男女共同参画推進室
☎72-2111

小郡市の取組

市は「小郡市男女共同参画条例」に基づき、さまざまな取組を行っています。平成30年2月には、職場の女性活躍や男性の家事・育児参画、性的少数者の人権問題などの課題に対する視点を踏まえて、第2次小郡市男女共同参画計画を見直しました。

第2次小郡市男女共同参画計画 令和元年度重点施策(概要)

- ①DV被害者支援体制の整備
- ②審議会等委員への女性の登用の推進
- ・委員に占める女性の割合40%以上を目標(平成31年4月現在31.6%)
- ③地域や家庭、職場における男女共同参画の推進
- ・生活の基盤となる家庭や職場などで男女がともに活躍できるように情報発信や啓発に努めます。
- ・あらゆる講座などで、男女共同参画の視点を取り入れ、女性の社会参画や男性の家事・育児参画につながる意識向上を図ります。

地域の課題解決のために

おごおり女性協議会



出前講座では、地域活動への女性の参画、男性の家事参画などをテーマにした寸劇を披露し、意見交換を行っています。

■寸劇の出前講座を始めたきっかけは？

平成26〜27年度に県男女共同参画センター「あすばる」のモデル事業に選定された「行政区(自治会)における男女共同参画推進状況調査」と「地域づくりワークショップ」を実施しました。この中で分かったのは、区議員や隣組長などの活動をするのは女性でも、名簿上は男性の名前になっている場合があるということでした。実際に地域活動をする人が堂々と発言でき、多様な意見が反映される地域づくりが大切だと思い、寸劇の活動を始めました。

■今後の活動は？

高齢者から若者まで、さまざまな方たちと、住みやすい小郡市をつくるために活動したいと考えています。各分野で活動中の皆さんに「おごおり女性協議会」に参加してもらい、活動を広げていきたいです。

■団体について

おごおり女性協議会は平成3年に設立。現在は市内の6団体と21人の個人会員で構成しています。性別に関係なく、誰もが個性と能力を発揮できる豊かで活力ある社会、人権が尊重され、安心して暮らすことができる社会をめざし、身近な「困った」の解決に向けて取り組んでいます。

■主な活動は？

おごおりフォーラムや学習会の開催、広報紙「にゅーす」の発行、地域への出前講座などを行っています。

小郡で新しい学びを

地域コミュニティCORAL



■現在の主な活動は？

設立当初のコンセプトは「女性が自分らしく輝くため」でしたが、性別にかかわらず参加しやすい活動内容へと年々変化してきました。その取組として、味坂校区コミュニティセンターとの共催で「まわしよみ新聞」を毎月開催。また、平成30年度「あすばる元気塾」に応募し、小郡市の地域情報を発信するYouTube「おごおりチャンネル」を制作しました。メンバーは会員という形はなく、SNSを活用し、広く参加者が継続してつながる仕組みにしています。

■今後の活動は？

メンバーそれぞれが出会いと学びを通して成長し、別の分野で活躍できるように、チャレンジの場を作り続けたいです。インターネットを活用し、効率的に運営できるよう工夫しながら、新しい地域活動のあり方を実践しています。

■団体立ち上げの目的は？

平成24年度、県と「あすばる」が開講していた女性リーダー養成講座「ふくおか女性いきいき塾」で小郡市在住の当初の設立メンバー3人が出会いました。市内に同世代の女性が学べる場を作ろうと、平成25年に団体を設立しました。自分の意見を安心して発言し、学び、チャレンジできる場として「イレブンジスの会」を企画運営。その後、市の市民提案型事業で「プレゼンテーション講座」を開催するなど、次の一歩を踏み出すきっかけになるように、新しい企画を意識し運営してきました。

